

防災塾

No.6

**死者6,434名、
重傷10,683名、
軽傷33,109名!!**

これは阪神・淡路大震災での人的被害です。

この人達の誰もが、自分がこのようになるとは思っていませんでした。

被害に遭って、誰もが**“思ってもみなかった”**と、

又、北海道胆振東部地震で肉親を亡くした人は

「この地震自体が夢だと思いたい!! 夢なら覚めて欲しい。」と悲痛な思いを語っていました。

この現実でも、**“自分だけは大丈夫”** と思いませんか？

しかし、自分にとって都合の悪い情報は無視したり、過小評価してしまう人間だれもが持っている特性から、そう思っていないか!!

目黒 公朗（東京大学教授）さんは、言っています。

「想定内」を広げて → 災害「想定外」への備え

「家族にけが人が出たら」「自分が亡くなったら」と想像するうちに、災害が「自分ごと化」されます。そうなれば、おのずと自分の頭で対策を考え、実行するようになるのです。

「私たち」がいつも簡単に災害弱者になるという想像力も必要です。例えば、メガネを紛失したら？割れたガラスで足を負傷したら？と意識することで、見える世界が変わってきます。想像力の有無によって、その人の境界線は大きく変わります。地震が起きるまでの時間を有効に使って**「想定内」の範囲を大きく広げて下さい。**と、

地震の揺れは防げません。「死」や「ケガ」の多くは自宅でおきています。すぐには助けられません。まずは耐震補強や、家具の転倒を防ぐ対策を進めるべきです。

「自助」が出来なければ、自分も家族も守れません。想像力を働かせて、どうしたら死んだり、ケガをしったりしないように出来るか家族で話し合ってください。

家の中で固定していない物は

**動く、飛ぶ、飛び出す、倒れる、
落ちる、崩れる、壊れる…**

**地震に無関心では、自分や家族を守れません。
ぜひ「防災塾」へ足を運んでください。**

「防災塾」の開催日は階段下掲示板へ貼り出します。
「防災塾」塾長・防災士 竹内 一三 ☎046-254-7137
後援：相武台グリーンパーク災害対策合同委員会